【　臨床研究に関する情報の公開　】

当院の内分泌代謝・ダイアベティス（糖尿病）センターで入院加療を行った患者さまの
試料・情報を用いた医学系研究に対するご協力のお願いについて

項　　目	内　　容
１．研究課題名	AWGS2025筋量補正法の違いによる2型糖尿病患者のサルコペニア病態の特徴
２．研究の対象者	2024年1月1日から2026年7月31日の期間に糖尿病で入院加療を行った50歳以上の患者さま
３．研究期間	倫理委員会承認後　～　2027年1月31日
４．研究実施体制と研究責任者	研究実施場所：関西電力病院　疾患栄養治療部 研究責任者　：疾患栄養治療部　田中大也 研究分担者　：疾患栄養治療部　真壁昇、茂山翔太、高橋拓也 内分泌代謝・ダイアベティス（糖尿病）センター　山崎裕自、窪田 創大 研究実施機関：なし 資料・情報提供機関：関西電力病院　疾患栄養治療部
５．本研究の意義・目的	入院加療となった50歳以上の2型糖尿病患者さまを対象として、アジア地域のサルコペニア診断基準（AWGS2025年版）の筋量補正法である身長補正法とBMI補正法によって診断されるサルコペニアの身体機能ならびに代謝・栄養学的特徴の違いを明らかとし、筋量補正法に応じたサルコペニアの病態理解と個別化した栄養評価・支援につなげることを目的としています。
６．研究の方法	2024年1月1日から2026年7月31日までに当院で入院加療を受けた50歳以上の2型糖尿病患者さまを対象として、診療録から身体計測、血液・尿検査、糖尿病合併症、動脈硬化指標、GLIM基準による低栄養診断、握力、通常歩行速度および体組成の情報を後方視的に収集します。AWGS2025年版に基づき、握力および身長補正法とBMI補正法による筋量でサルコペニアを判定し、筋量補正法別に分類した群の身体機能ならびに代謝・栄養学的特徴を比較します。
７．研究に用いる試料・情報の種類	電子カルテに記録された年齢、性別、身長、体重、生体電気インピーダンス分析法で測定した四肢骨格筋量・体脂肪量、握力、通常歩行速度、血糖・腎機能・インスリン分泌に関する血液・尿検査と、これらから算出するインスリンの分泌量や効き方の指標、血管の硬さ・足の血流に関する検査、過去6か月間の体重減少および食事摂取量の変化を研究に利用します。
８．試料・情報の保管方法と廃棄方法	各種データの抽出は外部と遮断された電子カルテ端末を用います。抽出後のデータは同じく電子カルテ端末上のパスワード管理されたフォルダ内に研究公表後５年間保管し、保管期間を終えるとデータ消去します。
９．個人情報の保護について	情報収集には、診療ＩＤや患者識別コード等を用いることで匿名化されています。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者へ知られたりすることはありません。研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は、１１．問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10．情報管理責任者	関西電力病院　疾患栄養治療部　真壁　昇
11．問い合わせ・苦情等の窓口	〒５５３－０００３　大阪市福島区福島２丁目１番７号 関西電力病院　疾患栄養治療部　田中大也 電話：０６－６４５８－５８２１（代表）

文書様式作成者：古賀和弘（倫理委員会）＜2021.6.28＞